

1月度月例句会 会報・HP掲載句

一月詠草

兼題：千両、鱒酒、当季雑詠

坪庭や赤き千両光る朝	中山 知祐
千両や日毎実を染め鳥の声	清家 静楓
木漏れ日に輝き美し実千両	生江沢五風
老いらくのほのぼのかなし実千両	宮川 至剛
葉の青に負けじと赤き実千両	森 邦彦
鮮やかに床かざりをり実千両	安井 正浩
而して鱒酒の酔ひ楽しみり	六川 里風
鱒酒の香りも添へて鍋楽し	石原 克己
ひれ酒の焰見つめる二人して	川田 勝美
鱒酒の火の一瞬に頬ゆるむ	城戸崎雅崇
鱒酒の青き炎や焦げ恋し	小野 信
冬椿自服のお茶の人心地	大仲 正敏
昇る湯気ラガーのスクラム軋みけり	佐藤 政百
長男の降格哀し冬悲し	眞田 宗興
	以上